

今回のリサイタルにあたって 永岡 信幸

ハンガリー・リスト音楽院のペーター・ショイモシュ先生がおっしゃられたこと、「何を弾くか迷った時には、バッハの平均律とショパンのエチュードを」。40年余りの演奏活動の中で、リサイタルプログラムとして自ら弾きたいと思うものをほぼ弾いて来た私は、次に何を弾こうかと考えたとき、恩師のこの言葉を思い出したのでした。

2023年6月の東京文化会館のリサイタルでショパン・エチュード全曲を取り上げましたが、これをCDに入れて残したいとの思いが募り、ディレクターの満川隆さんをお願いしてレコーディングに取り掛かりました。そして、何度かの収録のたびに「未だ未だ」という思い、いつの間にか3年が経っていました。ショパンという音楽家が、ピアノを弾くということを本能的に理解していたことに気づかされ、その極みであるエチュードに携わる中で、自らの演奏をあらためて見直すこととなったのです。

もしや、ようやく見えてきたものがあるかもしれないと、今回のリサイタルで再びエチュードを、そしてエチュードと強いつながりを持つプレリュードをその前に置いてのプログラムを組んだ次第です。なおリサイタルのひと月前にレコーディングを、そしてこのリサイタルでもライブ録音を行います。そのどちらか納得の行く方をリリースの予定で、辛抱強くお待ちくださった皆様に、心からの感謝と共にお届け出来ればと存じます。どうぞ10月15日の浜離宮朝日ホールへお誘い合わせのうえお出かけ頂ければ幸いです。

PROFILE

東京生まれ。坂井玲子氏に師事し、武蔵野音楽大学および同大学院修了、クロイツァー賞受賞。ハンガリー・リスト音楽アカデミーにてペーター・ショイモシュ氏、ベルリン芸術大学にてクラウス・ヘルヴィヒ氏、パリにてジェルメヌ・ムニエ氏のもとで学ぶ。88年ベルリン芸術大学を全教授一致の最優秀で卒業。ウィルヘルム・ケンプ財団の招きにより、イタリア・ボジターノでのゲルハルト・オピッツ氏によるベートーヴェン全ピアノソナタ・協奏曲講座に参加。

国際コンクールでは、85年ヴィオッティ、マルサラ、86年ブゾニ、マリ

ア・カナルス、87年エビナルに入賞。国内外で演奏活動を展開し、各地でのリサイタル、ベルリン響、ザールブリュッケン響、ハイドン響等オーケストラとの協演の他、室内楽・歌曲リサイタルでも活躍。NHK、SFBベルリン放送、フランス国営放送等に出演。CDにはリスト・巡礼の年第1年とノルマの回想、またベートーヴェン・ピアノソナタ第29番「ハンマークラヴィーア」と第31番があり、2018年秋にはショパン・ピアノソナタ全3曲をリリースした。

現在、武蔵野音楽大学教授、宇都宮短期大学音楽科特別講師。

永岡信幸が満を持して世に問うショパンの3曲のソナタ。
骨太の解釈とピアノのタッチが全篇冴えわたります。

LIVE
NOTES

●全国の主要レコード店で発売!
NAMI RECORDS CO., LTD.



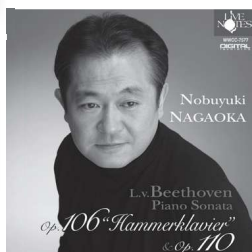
絶賛発売中

永岡信幸(ピアノ) ショパン:ピアノ・ソナタ全集

フレデリック・ショパン:ピアノ・ソナタ

第1番 八短調 Op.4 / 第2番 変ロ短調「葬送」 Op.35 / 第3番 口短調 Op.58

●WWCC-7887 ¥2,750 (税抜価格¥2,500)



CD第二弾はベートーヴェン後期の大作2曲!

巨大な「ハンマークラヴィーア」の構成美が、
永岡信幸の核心に迫る表現によって見事に浮かび上がってきます。

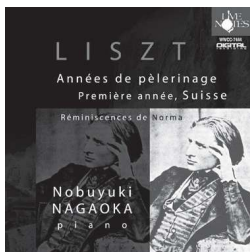
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ

第29番 Op.106 & 第31番 Op.110

第29番 変ロ長調 作品106「ハンマークラヴィーア」/ 第31番 変イ長調 作品110

永岡信幸 (ピアノ)

●WWCC-7577 ¥2,860 (税抜価格 ¥2,600)



●リスト:巡礼の年 第1年(スイス)
歌劇《ノルマ》(ベッリーニ)の回想

リスト:巡礼の年 第1年(スイス)
1.ウィリアム・テルの聖堂 2.フレンシュタットの湖で 3.バストラール 4.泉のほとり
5.嵐 6.オーベルマンの谷 7.牧歌 8.郷愁 9.ジュネーヴの鐘—終曲
歌劇《ノルマ》(ベッリーニ)の回想

永岡信幸 (ピアノ)
●WWCC-7444 ¥2,860 (税抜価格¥2,600)

(CD受注専用FAX)
03-3440-5401

●制作・発売元:ナミ・レコードCo.,Ltd.
TEL 03-3440-5542

<http://www.nami-records.co.jp>